

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.5)

平成29年6月27日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月下旬現在、ニセナシサビダニの発生量は多い。

2. 情報の根拠

- (1) 気温の上昇とともにニセナシサビダニの密度が急増した。
- (2) 6月下旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は2,713.6頭(平年：1,072.7頭)で、発生量は平年と比較して多い(表1)。
- (3) 5月下旬及び6月中旬にニセナシサビダニの防除を行った事例では、葉当たり個体数が21.4頭(前年：10.8頭)と寄生密度は低い(表2)。
- (4) 向こう1か月の気象予報は、今後も本種の増殖にやや好適と見込まれる。

表1 ニセナシサビダニの発生活長(園芸試験場)

月・旬	本年	平年
5・上	3.2	1.1
5・中	28.8	5.5
5・下	166.8	43.6
6・上	340.8	370.0
6・中	693.8	1,072.7
6・下	2,713.6	1,249.2

注) 殺ダニ剤無散布ほ場，1葉あたり寄生個体数(3樹10葉調査)

3. 防除上注意すべき事項

新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は、追加防除を行う。

(参考)

慣行防除区(5月下旬・6月中旬に本種を対象に殺虫剤を散布する区)におけるニセナシサビダニの発生活長

表2 ニセナシサビダニの発生活長(園芸試験場)

月・旬	本年	前年
6・上	0	0.2
6・中	6.0	8.0
6・下	20.4	10.8

注) 1葉あたり寄生個体数(3樹10葉調査)

6月中旬は薬剤散布前の密度

要約：6月下旬現在、慣行防除区におけるニセナシサビダニの発生密度は低い。